文学不動産

さぬき時間を楽しむ。五色に輝く瀬戸の海と悠然と横たわる讃岐山脈。その間に広がる讃岐平野にはぽこぽことしたまあるい山やため池が点在し、ゆったりと流れる独特のさぬき時間が流れる。この地で暮らす人が住まう家屋もまた時を重ねるほどに味わい深い魅力を纏い、ゆっくりと讃岐の景色の一部になってゆく。人の暮らしを支えてきた古い家屋には、昔のアルバムと一緒に書棚の中に仕舞われていた文学作品のような、色褪せない輝きが宿る。「文学不動産」先人に学び、自分らしく住まう。今の時代にも添う家屋の価値を写真と言葉で綴り、良きさぬき時間をご提案します。

file-04
S邸

RANMA KITCHEN HOUSE

欄間キッチンがある家

photo&text : Rika Miyoshi

暮らし方に合わせて間取りの定石を外す

人生最大の買い物は『家を買う』ということ。子をもつ親は思う。その家が家族と過ごすこれからの数十年間の出来事を、おおらかに骨太に包み込んでくれる『包容力のある家であって欲しい』と。

『欄間キッチンのある家』のS夫婦との出会いは十数年前、インテリア専門学校で教壇に立っていた時の教え子達だった。20代という世代に似合わず、無類の古民家好き。田舎暮らしに憧れるスローライフ派同士で、インテリアや雑貨好きの彼らは、私が営むインテリア雑貨店にときどき遊びに来た。ある日、私の祖母の築60年になる古民家を案内した時「こういう家に住みたいけど高くて買えないなぁ…」と、悔しがった姿がいじらしくて。祖母の嫁入り道具だった古い水屋がたいそう気に入ったらしく、どうしてもというので譲る事にした。この家で再利用されているキッチンカウンターがそれである。

4人目の子供を妊娠して、住んでいた賃貸が手狭になったことや、街中から離れた場所だけど、掘り出し物件に出会ったことで家を買う決断をしたらしい。ピカピカの新築マンションなどにはない、年月を経た木造の懐の深い包容力が彼らの感性の触手にふれたのかも知れない。そう！　年寄りのシワだらけの笑顔の奥に人生の重みを感じるように。

物件購入後にお願いしたリフォーム会社の最初の提案は、システムキッチンなど水まわりとLDKのみ一新するという内容だった。八畳と六畳の続き間を改装すると金額も上がるので、現状流用…となるのは当然のことだが、S夫婦にとって満足できる内容ではなかった。「せっかく一軒家を手に入れたのに、六畳のダイニングキッチン、四畳半の応接間がリビング、これで家族6人で住むのは、団地生活と変わらんやん…先生、助けて！」と、駆け込んできた。

家の設計＝人生設計

表層のみ小綺麗に直すのがリフォームならば、ライフスタイルに合った空間にステージアップさせるのがリノベーションの定義だと私は思っている。和風建築に見られる襖や障子などの建具で田の字に仕切られた和室は、リビング、ダイニング、寝室、書斎、客間、そしてパーティルームやゲストルームにもなる。なんともフレキシブルかつ風情あるトラディショナルな日本文化は素晴らしい。

彼らが気に入った家は、土間キッチンを洋風キッチンに直し、ラグジュアリーなシャンデリアのある応接間付きで、当時は超モダンなお家だったはず。決して古い和室をパリッとスタイリッシュモダンなフローリングの部屋に変えたい、と言ってるわけではない。ならば、家のど真ん中に暮らしの軸となるカウンターキッチンを配したら？　ママは子ども達全員の行動が把握できるキーステーションから司令塔となるポジションを取れて、子ども達はクローズドな部屋はなくても、猫のように家のあちこちにお気に入りの場所を見つけ遊び場とする。あ、これってひと昔前の日本の原風景では？　仕切られた部屋がなくても、健やかに子どもは育ってきた。むしろ、引きこもり、いじめ、そんな社会問題が増えたのは、バタンと閉まる開き戸のせいではないか？　ともかくこの家の子ども達は、すべての部屋を回遊できる動線で、のびのびと朗らかに育ってくれるはず。子ども達が保育園に行ってる間は、ハンドメイドのサロンとして家中の部屋を開放し、お家カフェのように使っていると聞く。

欄間のある和室にカウンターキッチン。床はコンパネセルフ塗装。床の間には厨房機器。違い棚には食器棚とモザイクタイルの調理台。仏間に冷蔵庫。押入れの下の段は、おもちゃと絵本がある子どもの隠れ家。

みんなで、漆喰塗り壁も塗った。

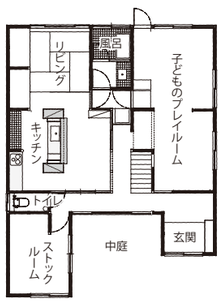
みんなで、襖紙も貼った。

みんなで、ペンキを塗った。

みんなの想いが詰まった、他にはないオンリーワンにカスタマイズされた家ができ上がった。美人は三日で飽きる、という。ちょっと下手クソ具合も、ビンテージな空間に似合っていて、それがまた可愛いくなる。土壁の家、高気密高断熱じゃなくてちょっと寒いけど、きっと、家族皆が、この家が大好き。

どこにでもある普通の家じゃないこと、不自由なことも、面倒くさいことも、きっとそれが幸せなことなんだよ、と。そんなことを教えてくれた新築とはまた違った楽しい現場だった。

ふと、「やれやれ、壊されずに助かったよ。住んでくれてありがとう！」そんな声が聞こえたような気がした。



恋に仕事に日々の暮らしに輝く女性のための
インテリアセラピーレッスン
発行 LEE planning ／定価 ¥1,000（税別）

インテリアを変えると、生き方が変わる。どんな空間で過ごすかで、未来は変わる。
私が私らしくあるために心に効くインテリアとは？　今から実践できるインテリアレッスンを始めてみませんか？

amazonにて、絶賛販売中！
インテリアセラピーレッスン　検索

私が、リノベの現場をご紹介します

プロフィール
三好 里香／インテリアデザイナー
インテリアを変えると生き方が変わる。どんな空間で過ごすかで未来は変わる。心と空間を紐解く独自の「インテリアセラピー理論」で、心地良さに徹底的にフォーカスした、人を癒し魅了する空間デザインを提唱。住商業空間デザイン、インテリアセラピーなコーディネート、VMDなインテリアスタイリングを得意とする。